



『よい子の鐘の音色とともに始まる平成29年度』

子供一人ひとりに誇りと自信をもたせる学校づくりをめざして

校長 岡部 良美

新南門の桜が木の花が満開となり、枝を横に広々と伸ばして、新しい年度を祝うにふさわしく、登校する子供たちを包み込むように迎えています。

4月5日(水)に新六年生が新年度の出発の準備に登校し、学校のリーダーとして大活躍でした。こちらが頼みたいことを察知して率先して動く頼もしい六年生です。そして今日、すべての学年の子供たちが元気に笑顔で登校し、学校に活気がみなぎる躍動感のある春になりました。六年生の胸には、大泉東小の桜の花びらを形取った校章の徽章が輝き、大きな期待を予感することができます。

お子様のご入学・ご進級、おめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。練馬区立大泉東小学校の平成29年度、開校61周年の教育活動が始まりました。本校には昨年度の開校60周年と2年後の新校舎落成を記念して、周年実行委員会から寄贈いただいた、入学と進学の時だけに一人1回鳴らせる『よい子の鐘』があります。3月24日、卒業生一人ひとりが進学の思いを込めて鳴らして巣立っていた鐘を、今日は一年生115名が喜びと期待、誓いを込めて一人1回鳴らして、入学してきました。二年生は119名、三年生は118名、四年生は114名、五年生は124名、そして六年生は122名の全児童712名でスタートをいたしました。本年度も一、二年生が各4学級、三年生以上が各3学級、さくら学級も3学級で、昨年度と同じく全校では23学級の編成になりました。

今年度も、子供たちが社会で活躍する2030年を見据えた、『誇りと自信をもつ子』を基底とする教育目標、「まなびつづける子」「おもいやりのある子」「たくましい子」の育成に向けて、意図的・計画的・発展的・組織的に教育活動を進めます。「明るく楽しい学級・学年」をていねいにつくり、子供を褒めて認め、『子供一人ひとりに誇りと自信をもたせる学校』を基盤として、子供たちに第二校歌『東の子』の歌詞にある「楽しくゆかい」、「笑顔でがんばる」、「やさしく親切」、「陽気にあいさつ」の姿が表れるよう教職員一同全力で取り組んでまいります。

ご家庭におきましても、お子様が元気いっぱいに通学し、安定した気持ちで学習できますようご配慮をお願いいたします。また、家庭と学校が協力して子供たちを見守り育てるために、さらに保護者間の連携を深めるためにも、PTA活動への積極的なかかわりをお願いいたします。

地域の皆様におかれましては、本校の子供たちが、たくましく健やかに成長できますように、今年度もますますのご支援をお願い申し上げます。

今後も保護者や地域の皆様からの期待に応えるべく、魅力・活力・信頼のある学校を創ってまいります。特に今年度は、外国語活動(英語)、ICT機器を活用した授業について、子供たちのために重点的に研究を進めてまいります。

校舎等全面改築工事は現在、新体育館の土台作りが進んでいます。2基のタワークレーンも設置され、新体育館、そして新南校舎(教室棟)の建設が開始される所です。平成30年1月に新体育館竣工の予定です。すべての校舎落成までには今後2年間の工事が続きますが、保護者・地域の皆様にはご理解とご協力をお願いいたします。